

殺意の瞬間 (1984)

CRIMEN EN FAMILIA

メディア 映画

ジャンル サスペンス

製作国 スペイン

色彩 Color

時間 99分

初公開日 1988/05/07

公開情報 ヘラルド

【解説】

家族全員で父親を殺してしまうというショッキングなテーマを扱ったサスペンスドラマ。大きな建設会社を営む強権的な父親の仕打ちに耐えかねた母娘達が、次第に殺意を抱き、実行に移して行く様を丁寧な演出でじっくりと描いており、映像的に淡白なところが見られるものの、結構見応えのあるドラマにはなっている。ラストシーンで殺された彼の葬儀（擬装工作により犯人はテロリストという事になっている）に残った家族が死化粧姿で参列するというやや象徴的なシチュエーションがあり、これによって殺してしまう家族達の方も実は罪人ではないかという視点も伺えるのだが、その割に父親の方を一方的に加害者として描き過ぎた感じで、その辺りどうも中途半端な物語になってしまった様な気がしてならない（封建的な父親にいじめられる可哀想な家族の話として見れば楽しめると思うのだけれど……）。殺害の日、家族達がためらう中、最後にその引き金を引く事になる次女のマリアナ。彼女のキャラクターがこの物語の中で一番印象的だった。この父親を誰よりも深く愛し、理解していたのは彼女だったのかも知れない……。

【クレジット】

監督 サンチャゴ・サン・ミゲル

脚本 ゴンザロ・ゴイコエッキア

サンチャゴ・サン・ミゲル

ペラ・ヴォナセク

撮影 ホセ・ガルシア・ガリストオ Jose Garcia Galisteo

音楽 リカルド・ミラレス

出演 アグスティン・ゴンザレス

チャロ・ロペス

Charo López

クリスティナ・マルシラック Cristina Marsillach